

2026 SUPER GT Rond 2, FUJI GT 3HOURS RACE

GW SPECIAL

「昨年の富士での優勝を、今年も再現すべく決勝に臨む」



●5月3日（公式練習/予選）

恒例のゴールデンウィーク人気イベント、スーパーGT第2戦『FUJI GT300 HOURS RACE GW SPECIAL』は、天気予報が荒れ模様でもあるにもかかわらず、早朝から多くのファンがサーキットに詰めかけ、一般駐車場は午前5時にオープンするほどでした。

今シーズンは片山義章選手の新たなチームメイトとしてニクラス・クルッテン選手を迎え、岡山国際サーキットでの開幕戦で幸先の良いポイントフィニッシュを飾っている

VELOREX は、昨年チームとして GT300 初優勝を飾った富士スピードウェイでの第 2 戦に並々ならぬ意欲を持って臨みました。

午前中の公式練習、走行開始時は気温 22°C、路面温度 34°C という予想外に暖かいコンディションとなりました。ふたりのドライバーは赤旗で途中中断があったもののトータル 29 周をこなし、1 分 37 秒 585 で 18 番手タイムをマークしました。

「ベースセットは問題なかったのですが、タイヤが予想外に路面と合っていない感じでしたので、予選までにデータを解析してアジャストします」と小倉啓悟監督は語ってくれました。ふたりのドライバーも、基本的にオーバーステアが強いが、コーナーによってはアンダーステアが出ると訴えていました。

午後 2 時、予選開始時は気温 21°C、路面温度 27°C と冷たい風が吹くコンディションとなりました。予選は A、B ふたつのグループに分かれた予選 Q1 でそれぞれ上位 9 台が予選 Q2 に進出。18 台で争われる予選 Q2 でのタイムでグリッドが決まるという昨年同様のシステムです。

VELOREX は A グループに振り分けられ、予選 Q1 アタッカーは前戦同様ニコラス・クルッテン選手が務めます。スタッフ全員が見守る中、ニコラス・クルッテン選手は慎重にタイヤを温め、5 周目のアタックで午前中の公式練習を上回る 1 分 36 秒 898 をマークしましたが、残念ながら 12 番手タイムにとどまり、まさかの予選 Q1 敗退となってしまいました。

■片山義章選手のコメント

「朝の公式練習ではマシンのバランスがいまひとつで、タイヤと路面とのマッチングもいまひとつという状況でした。午後の予選までにチームはセットアップを変更してくれたのですが、ニクラス・クルッテン選手の頑張りも虚しく、残念ながら午後の自分の出番はなかったです。予選結果に関しては素直に受け止めるしかありませんが、昨年のこのレースでは今日の予選順位より後方のグリッドから逆転優勝を飾ることができたサーキットですし、ロングのペースは悪くないので、諦めることなく粘り強さを見せ、長いレースでひとつでも上位を目指したいと思います」

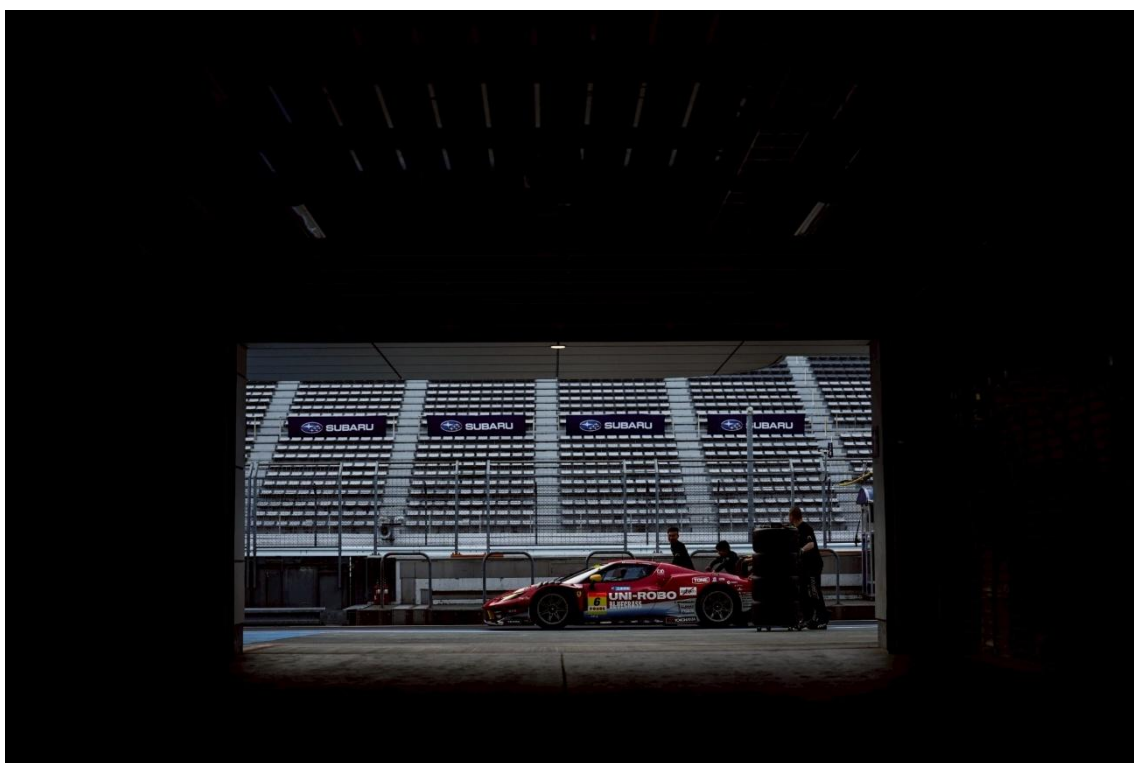
■ニクラス・クルッテン選手のコメント

「朝の公式練習ではバランスは良くなかったのですが、午後の予選ではかなり改善されていました。ただ1発の速さを見せることができず、悔しい結果に終わってしまいました。明日の決勝は後方からのスタートとなってしまいましたが、全力でプッシュして、トータルタイムでの速さを求めて頑張ろうと思っています」



■小倉啓悟チーム監督のコメント

「かなり厳しい結果ですね。自分としても言葉がないというか、できることをすべてやって、明日の決勝に賭けるしかない状況です。ドライバーのコメントからは、マシンに大きな問題があるというわけではなく、気温や路面温度のマッチングが悪かったとしか言いようが無いですが、データの細部を検証し、明日の決勝に向けての最適解を探し出すしかありません。今日は自分たちとしては、不本意な一日でした。明日は大きくジャンプアップできるように頑張りたいと思います」



■本リリースに関するお問い合わせ：チームルマン広報部：info@teamlmans@co.jp